なりたい自分

橘中学校　三年　皆川　結楽

あなたは「なりたい自分」について考えたことはありますか。将来のことを見据えた話となると、なかなか思い浮かばないという人もいるでしょう。私も小学生の頃からの夢がありますが、「自分はこんな人になりたい」という意志を持ち始めたのは、中学生になってからでした。

はじめに、私の将来の夢について話します。私の夢は養護教諭になることです。養護教諭を目指しているのは、小学生の時にお世話になった保健室の先生に憧れたことがきっかけです。

小学校入学当時から学校に行くことが好きだった半面、周りの雰囲気に馴染めきれていなかった私は、保健室の先生と話すことが大好きでした。いつもニコニコしながら話を聞いてくれたり、面白い話で笑わせてくれる先生は、一緒にいて心が温まる存在でした。そんな先生方にお世話になってきた私は、「今度は自分が先生の立場になりたい。」と思うようになり、今の夢があります。

次に、なりたい自分の姿について話します。私が目指す将来の姿は、「一緒にいて安心してもらえる人」です。その姿を目指している理由は、不安や悩みを抱えている子どもたちの居場所になりたいと思ったからです。私は、先生が横にいてくれたことで前向きな気持ちになることができました。だから私も、同じように寄りそってあげられるような人になりたいと思ったのです。

しかし養護教諭になるのは、そう簡単なことではありません。まず、養護教諭免許状という資格を取得する必要があります。大学、短期大学、専門学校のいずれかを卒業することで取得することができます。そして免許状取得後、一番の難関と言われる教員採用試験を合格しなければなりません。なんと試験の採用率はかなり低く、倍率も高いため壮絶な努力を重ねていく必要があるのです。そう思うと自分の夢がとても遠く感じ、自信が奪われていくような気がしました。それでも諦めたくないと思うのには、もう一つの理由があります。

実は先日、ある記事が私の目に留まりました。それは、小学生などの幼い子どもたちが自ら命を絶ったというものでした。

「とても優しい子でした。」

と、涙を流しながらインタビューに答えるご両親を見ると、胸が苦しくなりました。「誰にも

相談できなかったのかな。」「我慢していたのかな。」そう思うと、自分の夢について改めて考えさせられ、叶えたいという気持ちが大きくなりました。だから私は、この夢を諦めたくありません。

　夢を実現させるためには、何事にも一生懸命取り組み、「負けない」という強い気持ちを持つことが大切だと思います。実際、私の知り合いにも採用試験の壁を乗り越えた方がいますが、合格への道のりは非常に厳しく難しいものだと聞きます。自分はその壁を乗り越えられるのか、夢をつかみ取ることができるのか。正直、不安で仕方がありません。しかし、十年後の自分が「あの時、頑張っておいてよかった。」と心から思えているように、目の前のことを全力で成し遂げていきたいと思います。まずは高校受験から。気を引き締めて、悔いのない結果を目指していきます。夢に向かって挑戦を重ね、立派な大人になれるように頑張ります。